事業計画書目次

 [環境創造局]
 8款4項3目
 (単位:千円)

	光	し歌子現り					(十匹・113)	_	_
計画書頁	事業名	令和3年	度	令和2	生年度	増△減(3−2)		38の政策	新 規 •
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	策	拡充
1	市内産農畜産物の生産 振興事業	36,845	31,835	16,729	11,719	20,116	20,116	0	
2	農業の担い手支援事業	82,449	7,048	83,050	7,649	△ 601	△ 601	0	
							_		
	ā†	119,294	38,883	99,779	19,368	19,515	19,515		

(様式②-1) **令 和 3 年 度 事 業 計 画 書 (局・統 括 本 部)**

「環境創造 局 農業振興 課]

市内産農畜産物の生産振興事業

特記事項 中期計画-38の政策 〇 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 新規・拡充

中期計画-38の政							
政策番号	主な施策番号						
13	1						

令和2年度 事業評価書 番号 1 令和2年度 事業評価書 番号

(単位:千円)

								<u> </u>
I				財源	内 訳		一般	財源等
	区 分	金額	玉	県	財産収入	その他	市債	一般財源
	令和3年度	36, 845	0	3,000	2,000	10	0	31, 835
	補助事業							
	単独事業		補助率 %					
ſ	令和2年度	16, 729	0	3,000	2,000	10	0	11, 719
	増△減	20, 116	0	0	0	0	0	20, 116

	歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予	事業費	17, 721	19, 015	16, 656
算	市債+一般財源	14, 821	15, 990	14, 646
決	事業費	12, 745	8, 456	11, 560
算	市債+一般財源	11, 779	8, 456	10, 485

	歳出	令和4年度	令和5年度
予	事業費	36, 845	36, 845
算	市債+一般財源	31, 835	31, 835

方針の確認/決裁 有 ()・無

【 事業の目的・必要性】

1 事業の目的・必要性

市内産農畜産物の安定的かつ効率的な生産ができるよう、生産、販売、流通等に必要な設備等の支援や、営農上の知識・情報等の提供により、市内産農畜産物の生産を振興します。

特に、農畜産物の付加価値を高める取組や生産性を高める取組を進めるとともに、ICT(情報通信技術)やロボット技術の活用等の先進的な栽培技術(スマート農業)の導入支援、下水道資源を活用した環境制御型モデルハウス(研究ハウス、PRハウス)にかかるスマート農業機器等一式の購入設置を行います。

また、環境への負荷を軽減した農畜産物の生産や消費者ニーズの高い品目の生産を支援するとともに、都市農業特有の課題に対応するための取組を推進します。

2 根拠・データ等

「中期計画」:付加価値の高い農畜産物の生産設備導入支援 5件

- 【 令和3年度実施内容と期待される効果】
 - 1 実施内容
 - (1)付加価値を高める取組の推進
 - ①推奨品目作付及びPR ②推奨品目の生産施設設備等導入補助
 - (2) 先進的な栽培技術の活用 (スマート農業)

先進栽培技術設備等支援 (スマート農業技術導入支援)

- (3)環境への負荷を軽減した農業の推進
 - 周辺環境への配慮
- (4) 畜産の振興
- (5)下水道資源を活用したスマート農業実証事業

環境制御型モデルハウス内に最先端のスマート農業機器を導入し、遠隔管理による農業の実証実験及びPR

2 期待される効果

農畜産物の生産に必要な設備等を支援することで、市内産農畜産物の高付加価値化が進むとともに安定的かつ効率的に生産されます。また、環境への負荷を軽減する取組を支援することで、都市特有の課題解決に寄与します。

【実績及び今後見込み】

(1)付加価値を高める取組の推進

(1)竹加畑旭と同める取組の推	進						
	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込	中期目標値	R4年度見込
①推奨品目作付及びPR	42件	34件	32件	28件	28件		28件
②推奨品目の生産施設設備等導	4件	5件	2件	5件	5件	5件	5件

(2) 先進的な栽培技術の活用 (スマート農業技術導入支援)

·	H29年度実績		R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込	中期目標値	R4年度見込
①先進栽培技術設備等支援	6件	4件	3件	4件	4件		4件

(3)環境への負荷を軽減した農業の推進

		H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込	中期目標値	R4年度見込
1)-	-イ 周辺環境への配慮							
	a 農薬飛散防止ネット補助							
	b 電気柵補助	4件	4件	0任	5件	7件		7件
	c 鳥獣侵入防止ネット	417	417	317	917			
	d GAP認証関連設備の設置等							

(4) 畜産の振興

(1) H /L · · // // / / / / / / / / / / / / /							
	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込	中期目標値	R4年度見込
畜産振興							
a 環境・防疫指導等	238件	214件	244件	200件	200件		200件

(5)下水道資源を活用したスマート農業実証事業

(o) /NEAMERING	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込	中期目標値	R4年度見込
下水道資源及びスマート農業 技術を活用した試験栽培・P R		_	_	_	推進		推進

事業費の内訳 】				(単位:千円)
	R3年度	R2年度	差引	説明
(1)付加価値を高める取組 の推進	2, 420	3, 420	△ 1,000	補助事業見直しによる 減
(2)先進的な栽培技術の活 用(スマート農業技術導 入支援)	3, 565	4, 030	△ 465	調査委託業務完了によ る減
(3)環境への負荷を軽減し た農業の推進	6, 662	6, 567	95	実績に伴う増
(4)畜産の振興	5, 801	1, 355	4, 446	
(5)下水道資源を活用したス マート農業実証事業 事務費	17, 040 1, 357	0 1, 357	17, 040	くらし・経済対策関連 事業による増
合計	36, 845	16, 729	20, 116	

【 事業スケジュール 】

- (1)付加価値を高める取組の推進
- ①推奨品目作付及びPR:申出受付(随時)、奨励金交付(~3月末)
- ②推奨品目の生産施設設備等導入補助:申出受付(~5月末)、補助金交付(~3月末)
- (2) 先進的な栽培技術の活用(スマート農業技術導入支援): 申出受付(~5月末)、補助金交付(~3月末)
- (3)環境への負荷を軽減した農業の推進:申出受付(~5月末)、補助金交付(~3月末)
- (4) 畜産の振興:通年
- (5)下水道資源を活用したスマート農業実証事業: (R3.4~下水道敷地内工事) R4.2 購入設置

【事業開始年度】

令和元年度(平成30年度の2事業を見直し)

見直した事業は以下のとおり

「農業振興事業」「付加価値の高い農畜産物の生産振興事業」

【 根拠法令 】

横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例、先進的な栽培技術設備等導入支援事業実施要綱 先進的栽培技術設備等導入支援事業補助金交付要綱、横浜市周辺環境への負荷軽減事業補助金交付要綱 横浜市畜産振興事業補助金交付要綱、農産物売払事務取扱要領

横浜市農畜産物の高付加価値化促進事業実施要綱、横浜市農畜産物の高付加価値化促進事業奨励金交付要綱 横浜市農畜産物の高付加価値化促進事業補助金交付要綱、横浜市特別栽培農産物認証制度実施要綱 横浜市特別栽培農産物認証制度実施要領、横浜市環境保全型農業推進者認定制度要綱

横浜市環境保全型農業推進者認定制度事務取扱要領

国:食料産業・6次産業化交付金交付要綱、県:神奈川県食料産業・6次産業化補助金交付要綱

【 根拠とするデータ等 】

過去の実績

	課長	係長	農業振興担当
本資料は、公正・適正に作成しました。	朝倉 友佳	田並 静	阿部 龍典
			晋·唐创 生

埬埬割造 局 - (様式20-1)

令和3年度事業計画書(局・統括本部)

[環境創造 局 農業振興 課]

農業の担い手支援事業

事 業 · 8 款 4 項 3 目

4 切 3 日

特記事項 中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 新規・拡充

中期計画-38の政						
政策番号	主な施策番号					
13	3					

令和2年度 事業評価書番 号 令和2年度 事業評価書番 号

(単位:千円)

						(=	<u> </u>
			財源内訳				上源 等
区 分	金額	国	県	財産収入	その他	市債	一般財源
令和3年度	82, 449		5, 400	0	70,001		7,048
補助事業							
単独事業		補助率 %					
令和2年度	83, 050		5, 400	0	70,001		7, 649
増△減	△ 601	0	0	0	0	0	△ 601

	歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予	事業費	81, 637	80, 981	86, 440
算	市債+一般財源	6, 754	6, 138	6, 439
決	事業費	30, 261	35, 192	24, 775
算	市債+一般財源	3, 386	8, 542	4, 119

	歳出	令和4年度	令和5年度
予	事業費	82, 449	82, 449
算	市債+一般財源	7, 048	7, 048

方針の確認/決裁 有()・無

【 事業の目的・必要性 】

- 1 事業の目的・必要性
- (1)積極的に経営改善に取り組む農業者への営農支援を実施し、認定農業者やよこはま・ゆめ・ファーマー、環境保全型農業推進者といった横浜の農業を支える多様な担い手を育成・支援します。特に、都市農業の中心的な担い手である認定農業者に対しては、新たな農業経営に向けた取組を支援します。
- (2)農業経営に要する低利で短期の運転資金の預託、農業経営の近代化・合理化に必要な中期資金の融資に伴う利子補給、農業経営基盤強化促進法に基づく融資に対する利子助成を行い、自立経営農家の育成と経営の安定化を図ります。加えて、国・県が実施する野菜価格安定事業に参加する生産者に対し資金造成負担金の一部を支援します。
- 2 根拠・データ等

中期計画:農業経営の改善支援(補助事業)5件

- 【 令和3年度実施内容と期待される効果 】
 - 1 実施内容
 - (1)農業の担い手の育成・支援
 - ①横浜型担い手の認定・支援
 - ア. 認定農業者 イ. よこはま・ゆめ・ファーマー ウ. 環境保全型農業推進者 エ. トップ経営体(県MBA研修修了者)
 - ②農業技術・経営力の向上
 - ア. 担い手育成支援(研修奨励) イ. 栽培調査展示 ウ. 園芸技術指導
 - (2)農業経営の安定対策
 - ①農業金融制度等の充実
 - ア. 農業経営資金融資預託 イ. 農業振興資金利子補給 ウ. 基盤強化資金利子助成
 - ②野菜生産価格安定対策
 - 2 期待される効果
 - 認定農業者やよこはま・ゆめ・ファーマー、環境保全型農業推進者等への支援や融資に伴う利子補給等を行うことで、横浜の農業を支える担い手の農業経営の拡充、新たな農業経営につながり、横浜の農業の活力ある都市農業の推進に寄与します。

【実績及び今後見込み】

(1)農業の担い手の育成・支援

	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込	中計目標値	R4年度見込
①-ア 認定農業者							
a 新規認定数	17人	5人	8人	5人	5人		5人
b 再認定数	48人	14人	50人	46人	75人		52人
c 総認定数	278人	275人	276人	280人	280人		280人
d 経営改善支援	7件	7件	10件	10件	10件	5件	10件
e 経営診断	4件	4件	4件	4件	4件		4件
①-イ よこはま・ゆめ・ファーマー							
a 総認定数	119人	125人	130人	133人	138人		143人
b 支援	2件	2件	2件	2件	2件		2件
①-ウ 環境保全型農業推進者							
ア総認定数	247人	240人	233人	240人	240人		240人
①-エ 経営体育成支援							
ア支援	0件	0件	0件	_	_		-
①-オ トップ経営体							
ア支援	-	-	0件	1件	1件		1件
②農業技術・経営力の向上							
ア 担い手育成研修支援	1件	3件	1件	3件	3件		3件
イ 栽培調査展示	13件	13件	13件	13件	13件		13件
ウ 園芸技術指導	809回	700回	710回	700回	700回		700回

(2)農業経営の安定対策

	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込	中計目標値	R4年度見込
①農業制度資金							
ア農業経営資金融資預託		6件	5件	19件	19件		19件
イ農業振興資金利子補給	10件	7件	6件	10件	10件		10件
ウ基盤強化資金利子助成	7件	5件	5件	4件	4件		4件
②野菜生産価格安定対策							
ア国庫事業	0t	223t	2,870t	1,500t	1,500t		1,500t
イ県単事業	171t	169t	-	-	_		_

【事業費の内訳】 (単位:千円)

	R3年度	R2年度	差引	説明
(1)農業の担い手の育成・支援	10, 867	11, 467	△ 600	補助事業見直しによる減
(2)農業経営の安定対策	71, 224	71, 224	0	
事務費	358	359	△ 1	事務費見直しによる減
合計	82, 449	83, 050	△ 601	

【 事業スケジュール 】

- (1)農業の担い手の育成・支援
- ①認定・支援
- ア 認定農業者:認定(通年)、経営改善:申請(~10月末)補助金交付(~3月末)
- イ よこはま・ゆめ・ファーマー: 認定 (7月) 、支援 (通年) ウ 環境保全型農業推進者: 認定 (通年) 、支援 (通年)
- ②農業技術・経営力の向上:技術指導・栽培展示(通年)
- (2)農業経営の安定対策
- ①農業制度資金:預託募集(1月~) 審査(3月)
- ②野菜生産価格安定対策:補助申請受付(随時)

【 事業開始年度 】

令和元年度(平成30年度の2事業を見直し)

見直した事業は以下のとおり

「農業振興事業」「付加価値の高い農畜産物の生産振興事業」

【 根拠法令 】

横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例、横浜市経営改善支援事業補助金交付要綱 横浜市担い手育成支援事業実施要綱

国:環境保全型農業直接支援対策実施要綱、環境保全型農業直接支援対策実施要領、県:神奈川県環境保全型農業直接 支援対策事業費補助金交付要綱、横浜市環境保全型農業直接支援対策事業費補助金交付要綱

国:経営体育成支援事業実施要綱、県:経営体育成支援事業補助金交付要綱、横浜市経営体育成支援事業補助金交付要綱

県:トップ経営体育成支援事業補助金交付要綱、横浜市トップ経営体育成支援事業補助金交付要綱

農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第12~16条、よこはま・ゆめ・ファーマー補助金交付要綱

よこはま・ゆめ・ファーマー支援事業実施要綱

横浜市環境保全型農業推進者認定制度要綱/横浜市環境保全型農業推進者認定制度事務取扱要領

横浜市園芸団体育成事業補助金交付要綱、横浜市農業経営資金融資実施要綱

農業近代化資金融通法、かながわ都市農業推進資金融通措置要綱

よこはま都市農業振興資金利子補給金交付要綱、農業経営基盤強化促進法

農業近代化資金の円滑な融通のためのガイドライン、横浜市農業経営基盤強化資金利子助成金交付要綱

野菜生産出荷安定法、横浜市野菜生産価格安定対策事業補助金交付要綱

特定野菜等供給産地育成価格差補給事業実施要領 (S51農林事務次官通達)

【 根拠とするデータ等 】

過去の実績

	課長	係長	農業振興担当
本資料は、公正・適正に作成しました。	朝倉 友佳	田並 静	日置 拓也

環境創造 局 一